	ᅩᆓᄜᅻ	専門学校		2022年度)	授業科目 1	青報処理 I				
科目基礎		131 33 170		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	32281111111					
科目番号		0013		科目区分	専門 / 必修					
授業形態		授業		単位の種別と単位数	複 履修単位:					
開設学科		材料工学科	4	対象学年	1					
開設期		前期		週時間数	2					
教科書/教	材	Microsoft	Office2019を使った情報リテラシーの	D基礎(近代科学社),	配布資料, K-SE	C低学年向け共通教材(適宜配布)				
担当教員		岡 芳樹								
到達目標	票									
「情報」(	の概念・価値	直・性質・影響	響を, 科学的・社会工学的に理解でき	る.						
ルーブリ	ノック									
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安				
評価項目1			コンピュータや情報システムの応 用的な操作ができる.	コンピュータや情報 本的な操作ができる	服システムの基 る.	コンピュータや情報システムを十 分に操作できない.				
評価項目2			情報の概念・価値・性質・影響について、社会との関連性を理解することができる.	情報の概念・価値ついて,理解するこ		情報の概念・価値・性質・影響に ついて, 理解することができない				
評価項目3			n進数表現・算術演算・論理演算を 理解することができ,自ら計算式 の変換・作成ができる.	n進数表現・算術演 理解することができ	きる.	n進数表現・算術演算・論理演算を 理解することができない.				
評価項目4			コンピュータの仕組み(ハードウェア・ソフトウェア・ネットワーク)について,理解することができ,それぞれの関係も理解できる.	コンピュータの仕 ア・ソフトウェア )について, 理解す	且み(ハードウェ ・ネットワーク ることができる	コンピュータの仕組み(ハードウェア・ソフトウェア・ネットワーク)について、理解することができない。				
評価項目5			情報に関する法律・犯罪・セキュ リティについて,理解することが でき,自らの現状へ応用できる.	情報に関する法律  リティについて, ヨ  できる.	・犯罪・セキュ 里解することが	情報に関する法律・犯罪・セキュ リティについて,理解することが できない.				
		頁目との関係	×							
教育方法概要	Δ <del>寸</del>	「⊫売」の	)概念・価値・性質・影響を,科学的	. 外令下学的仁理领	 で <b>キ</b> ス					
			7概念・価値・住員・影響で、科子的 7容が学習・教育到達目標(B)<基礎>		Ce 0.					
授業の進	め方・方法	・ 本 教科 は	は座学・実技を織り交ぜて行っていく	((()))(() 9 %.						
注意点		<ul><li>※再試験に において, 点ー2σ(標 &lt;単位修得</li><li>・学業成績</li></ul>	学業成績とする. ※再試験は以下の1または2の条件に当てはまった時に試験成績が60点未満の者へ実施する。1.「全受講学生の試験成績において、平均点一0.66σ(標準偏差)が60点未満」の時。2.「全受講学生の試験成績において、自身の試験成績が、平均点一2σ(標準偏差)以上」でかつ「試験実施前までの提出物を再提出対象無く全て提出している」 <単位修得要件> ・学業成績で60点以上を取得すること。 <あらかじめ要求される基礎知識の範囲> ・小学校や中学校の技術家庭科・情報科目・プログラミング科目にて、MS-Windowsの基本的なマウスオペレーションおよびワードプロセッサの操作(文字入力とコピーアンドペースト)を習得していることを前提とする。未修得者については講義時間外に補習を行う。 <レポート等> ・メール送信・文書作成・表計算・発表資料作成・タッチタイプ・K-SEC作成資料「情報モラル」を課題として課す。タッチタイプについては講義時間だけでの練習では不十分なため各自、出来る限り毎日10分程度練習すること。タッチタイプの上達度評価は本校が導入しているタイピングソフトと授業で設定した基準(ローマ字入力分速80文字)を用いて行う。 <備考> ・本教科は後に学習する「情報処理II」の基礎となる科目である。また、コンピュータ、インターネットを扱う全ての講義の基礎ともなる科目である。 ・教室または情報処理センター演習室で授業を実施する。							
		マ・おはマ・・ッ用マ・義・あ小よ講レメタチい備本の教ら学び義ポーッタて考教基室が及り時、ルチイ庁、科礎まかがでした。	中学校の技術家庭科・情報科目・プリードプロセッサの操作(文字入力とコピ 計外に補習を行う. 等> 整信・文書作成・表計算・発表資料作 アイプについては講義時間だけでの練 プの上達度評価は本校が導入している。 は後に学習する「情報処理II」の基礎で ともなる科目である。	(ーアンドペースト)? 成・タッチタイプ・I 習では不十分なため。 タイピングソフトと! となる科目である. a	を習得しているご <-SEC作成資料「 各自,出来る限り 受業で設定した基	とを前提とする。未修得者について 情報モラル」を課題として課す 毎日10分程度練習すること、タ 準(ローマ字入力 分速80文字)を				
授業の履		マ・おはマ・・ツ用マ・義・ ト・かだっ間というでは、カールをは、カールをは、カーのの学び義ポーツタで考教基室 区が校っ間というできません。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	中学校の技術家庭科・情報科目・プリードプロセッサの操作(文字入力とコピ 別外に補習を行う. 等> 送信・文書作成・表計算・発表資料作の アイプについては講義時間だけでの練 プの上達度評価は本校が導入している。 う。 は後に学習する「情報処理II」の基礎は ともなる科目である。 には情報処理センター演習室で授業を	(ーアンドペースト)? 或・タッチタイプ・I 習では不十分なため。 タイピングソフトと! となる科目である. a 実施する.	を習得しているご <-SEC作成資料「 各自,出来る限り 受業で設定した基	とを前提とする。未修得者について 情報モラル」を課題として課す 毎日10分程度練習すること、タ 準(ローマ字入力 分速80文字)を タ、インターネットを扱う全ての講				
授業の履	<u>属性・履修</u> 「イブラーニ	マ・おはマ・・ツ用マ・義・ ト・かだっ間というでは、カールをは、カールをは、カーのの学び義ポーツタで考教基室 区が校っ間というできません。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	中学校の技術家庭科・情報科目・プリードプロセッサの操作(文字入力とコピ 計外に補習を行う. 等> 整信・文書作成・表計算・発表資料作 アイプについては講義時間だけでの練 プの上達度評価は本校が導入している。 は後に学習する「情報処理II」の基礎で ともなる科目である。	(ーアンドペースト)? 成・タッチタイプ・I 習では不十分なため。 タイピングソフトと! となる科目である. a	を習得しているご <-SEC作成資料「 各自,出来る限り 受業で設定した基	とを前提とする。未修得者について情報モラル」を課題として課す毎日10分程度練習すること。タ (ローマ字入力 分速80文字)を タ、インターネットを扱う全ての講				
授業の原 □ アクラ	ティブラーニ	マ・おはマ・・ツ用マ・義・ ト・かだっ間というでは、カールをは、カールをは、カーのの学び義ポーツタで考教基室 区が校っ間というできません。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	中学校の技術家庭科・情報科目・プリードプロセッサの操作(文字入力とコピ 別外に補習を行う. 等> 送信・文書作成・表計算・発表資料作の アイプについては講義時間だけでの練 プの上達度評価は本校が導入している。 う。 は後に学習する「情報処理II」の基礎は ともなる科目である。 には情報処理センター演習室で授業を	(ーアンドペースト)? 或・タッチタイプ・I 習では不十分なため。 タイピングソフトと! となる科目である. a 実施する.	を習得しているご <-SEC作成資料「 各自,出来る限り 受業で設定した基	とを前提とする。未修得者について 情報モラル」を課題として課す 毎日10分程度練習すること、タ 準(ローマ字入力 分速80文字)を タ、インターネットを扱う全ての講				
授業の履	ティブラーニ		中学校の技術家庭科・情報科目・プリードプロセッサの操作(文字入力とコピリードプロセッサの操作(文字入力とコピリー	(ニアンドペースト) を 成・タッチタイプ・I 習では不十分なため。 タイピングソフトと となる科目である。 ま 実施する。	を習得しているご <-SEC作成資料   各自, 出来る限り 受業で設定した基 また, コンピュー	とを前提とする。未修得者について 情報モラル」を課題として課す 毎日10分程度練習すること、タ 準(ローマ字入力 分速80文字)を タ、インターネットを扱う全ての講				
授業の原 □ <i>アク</i> ラ	ティブラーニ	Control	中学校の技術家庭科・情報科目・プリードプロセッサの操作(文字入力とコピ 別外に補習を行う. 等> 送信・文書作成・表計算・発表資料作の アイプについては講義時間だけでの練 プの上達度評価は本校が導入している。 う。 は後に学習する「情報処理II」の基礎は ともなる科目である。 には情報処理センター演習室で授業を	ボーアンドペースト) が ボ・タッチタイプ・I 習では不十分なため。 タイピングソフトと となる科目である。 ま 実施する。 」 遠隔授業対応 の利用方法 ィススイート利 1 0	を習得しているご <-SEC作成資料   各自,出来る限り 会業で設定した。 また、コンピュー にとの到達目標 ・情報システムな ・情質業が混在しているごと ・「特容が混在しているごと	とを前提とする。未修得者について 情報モラル」を課題として課す 毎日10分程度練習すること、タ 準(ローマ字入力 分速80文字)を タ、インターネットを扱う全ての講				
授業の原 □ <i>アク</i> ラ	ティブラーニ	<ul> <li>く・おはく・・・ツ用く・義・ か校 丁時 ールチイ行 ^ 科礎まかり かけい で、ツ用く・義・ 上グ         週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週</li></ul>	中学校の技術家庭科・情報科目・プリードプロセッサの操作(文字入力とコピ 別外に補習を行う. 等 >	ボーアンドペースト) が ボ・タッチタイプ・	を習得しているご <-SEC作成資料   各自,出来る限りを要素で設定した基準で、コンピュー はごとの到達目標・情報システムを	とを前提とする。未修得者について 情報モラル」を課題として課す 毎日10分程度練習すること。夕 準(ローマ字入力 分速80文字)を タ、インターネットを扱う全ての講 」 実務経験のある教員による授業				
授業の原 □ アクラ 授業計画	ティブラーニ	Control	p中学校の技術家庭科・情報科目・プロードプロセッサの操作(文字入力とコピ 別外に補習を行う. 等  だ信・文書作成・表計算・発表資料作のででである。  だはに学習する「情報処理II」の基礎である。  は後に学習する「情報処理II」の基礎である。  はは情報処理センター演習室で授業を  図 ICT 利用  の ICT NOW ICT	ボ・タッチタイプ・I ボ・タッチタイプ・I 関マイピングソフトと対 となる科目である。ま 実施する。 □ 遠隔授業対応 の利用方法 イススイート実 エススイート実 上なのす よ。	を習得しているご <-SEC作成資料   各自, 出来る限り 会主, こことの到達目標 また, コンピュー ごとの到達目標 ・ 情報が混在してしている。 記. 1 ・ 文書作成や表記について理解して	とを前提とする。未修得者について 情報モラル」を課題として課す 毎日10分程度練習すること。タ 準(ローマ字入力 分速80文字)を タ、インターネットを扱う全ての講 」 実務経験のある教員による授業 随通信ネットワーク、演習室パソコ を活用できる。なお、この到達目標 るたびに掲げられるものだが、自標 しまうので前期2周目以降から省略				
授業の原 □ アクラ	画	Control	中学校の技術家庭科・情報科目・プリードプロセッサの操作(文字入力とコピードプロセッサの操作(文字入力とコピードプロセッサの操作(文字入力とコピー 開かた では 表計算・発表資料作りてが、 ま後に 文書作成・表計算・発表資料作りでの練りの上達度評価は本校が導入しているが、 は後に学習する「情報処理II」の基礎である。 は は 情報処理センター演習室で授業を は 「日本のでは、 一位 「日本のでは、 日本のでは、 「日本のでは、 日本のでは、	ボーアンドペースト) ?  ボ・タッチタイプ・I 図では不十分なため。 タイピングソフトと となる科目である。 ま 実施する。  「温 「	を習得しているご く-SEC作成資料 各自, で設定した。 を関策で設定した。 を関策で設定した。 を関連を表している。 には変がになった。 には容が混在している。 には容が混在している。 には変がになった。 になった。 になった。 になった。 になった。 には変がになった。 になった。 になった。 になった。 になった。 になった。 にはできない。 になった。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな	とを前提とする。未修得者について情報モラル」を課題として課す毎日10分程度練習すること。夕準(ローマ字入力 分速80文字)をタ、インターネットを扱う全ての講り、インターネットを扱う全ての講り、実務経験のある教員による授業と活用できる。なお、この到達目標のようので前期2周目以降から省略しまうので前期2周目以降から省略十算、発表資料作成アプリの基本操いる。				
授業の原 □ アクラ 授業計画	画	Note	p中学校の技術家庭科・情報科目・プロードプロセッサの操作(文字入力とコピ 開外に補習を行う. 等	ボ・タッチタイプ・I ボ・タッチタイプ・I 図では不十分なため。 タイピングソフトと となる科目である。 実施する。   遠隔授業対応   1 の利用方法   1 のイススイート実   上 rpoint),   2 作 rpoint)   上	を習得していること く-SEC作成資料 と (-SEC作成資料   1 と (-SEC作成資料   1 と (-SEC)   2	とを前提とする。未修得者について 情報モラル」を課題として課す 毎日10分程度練習すること。夕 準(ローマ字入力 分速80文字)を タ、インターネットを扱う全ての講 」 実務経験のある教員による授業 随通信ネットワーク,演習室パソコ を活用できる。なお、この到達目標 るたびに掲げられるものだが、自標 しまうので前期2周目以降から省略				
授業の原 □ アクラ 授業計画	画	Note	中学校の技術家庭科・情報科目・プロードプロセッサの操作(文字入力とコピリ外に補習を行う. 等  「等  「等  「等  「等  「でする」には講義時間だけでの練りでした。 「特別のでは、  「は後に学習する「情報処理II」の基礎である。 「はなる科目である。」  「は情報処理センター演習室で授業を見まれる。」  「「は情報処理センター演習室で授業を見まれる。」  「「「「「「「「」」」」  「「「「」」」  「「「」」  「「」」  「「」」  「「」」  「「」」  「「」」  「「」」  「「」」  「「」」  「「」」  「「」」  「「」」  「「  「	ボ・タッチタイプ・I ボ・タッチタイプ・I 図では不十分なため。 タイピングソフトと となる科目である。 実施する。   □ 遠隔授業対応 の利用方法 1 のイススイート実 1 イススイート実 上 rpoint), 2 作 rpoint) 上	を習得していること く-SEC作成資料 と SEC作成資料 と SEC作成資	とを前提とする。未修得者について情報モラル」を課題として課す毎日10分程度練習すること。夕準(ローマ字入力 分速80文字)をタ、インターネットを扱う全ての講り、インターネットを扱う全ての講り、実務経験のある教員による授業と活用できる。なお、この到達目標のようので前期2周目以降から省略しまうので前期2周目以降から省略十算、発表資料作成アプリの基本操いる。				

		8週		中間試験				これまで学習した内容に対して説明ができる.			
		9週		プラ~ 知的!!	イバシー・知的 才産(著作物・)	り財産等の重要情報, 産業財産)情報検索 5. プライバシーや知的財産について内容や関連する 法律を理解している. 6. 権利情報の検索や調査ができる.					
		10ì	周	n進数	表現,2進数の	の算術演算・論理演	7. 2進数・10進数・16進数の相互変換・算術演 算・論理演算を行うことができる。				
		11ì	11週 情		情報のデジタル表現			8. 情報のデジタル表現について理解している.			
2	2ndQ	12ì	週コン		コンピュータの仕組み(ハードウェア・ソフトウェア)			9. コンピュータの仕組みを説明できる.			
		13ì	周	コンヒ	ピュータの仕組	]み(ハードウェア・	ソフトウェア)	上記. 9			
		14ì	周	情報)	通信ネットワー	- ク,暗号化方式,	情報の保護技術	10. 情報通信ネットワークについて説明できる. 11. コンピュータで取り扱う情報の暗号化技術や保護技術を知っている.			説明できる. 音号化技術や保
		15ì	5週 まと		とめ			これまで学習した内容に対して説明ができる.			
		16ì									
モデルコス	アカリ=	キユ゠	ラムの	学習	内容と到達	目標					
分類			分野		学習内容	学習内容の到達目標	5 7			到達レベ	ル 授業週
						情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。			(を活用で	3	
			情報リテラシー			論理演算と進数変換の仕組みを用いて基本的な演算ができる。			きる。	3	
						コンピュータのハ- 。	-ドウェアに関す	る基礎的な知識を活	用できる	3	
#7#45/4K.4		**			情報リテラ	情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを把握している。			把握して	3	
基礎的能力	工学基础	逆			シー	情報セキュリティの必要性および守るべき情報を認識している。			ている。	3	
						個人情報とプライバシー保護の考え方についての基本的な配慮ができる。				3	
						インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威を認識している			ける様々	3	
						インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威に対して実践すべき対策を説明できる。			3		
評価割合											
Ēī		験	<b>験</b>		題	相互評価	態度	発表	その他	合計	
総合評価割合 8		0		20		0	0	0	0	100	
配点 80		0		20		0	0	0	0	1	.00